

《書物復権》「本の力」イベント

本の可能性と 未来のカタチ

2023年10月7日(土) 石川県立図書館
10:30 ~ 16:30 だんだん広場

本を世に出す出版社と、本と読者の出会いの場をつくる図書館が、本の可能性と未来について、ともに考えるシンポジウム。出版業界・書店・図書館で働く方だけでなく、働いてみたい方、本を書く方・読む方もお気軽にどうぞ！本を愛する人のための一日です。

第1部 10:30 ~ 11:00

基調講演『いろいろな場面、いろいろな読者、デジタルがもたらすもの』
田村 俊作 (石川県立図書館 館長)

第2部 11:00 ~ 12:00

パネルディスカッション『企画展「十二文豪図書館二降臨ス
～ EPISODE with 文豪とアルケミスト～」を作るーこれも司書の仕事』
コーディネーター：田村 俊作
パネラー：上田 敬太郎 (石川県立図書館 閲覧サービス課長)
原 有樹 (石川県立図書館 閲覧サービス課)
河合 郁子 (石川県立図書館 利用推進課)

第3部 13:30 ~ 14:30

パネルディスカッション『本をつくるひと、届けるひとー出版社の仕事』
コーディネーター：橋元 博樹 (東京大学出版会 専務理事)
パネラー：永沼 浩一 (岩波書店 編集局副部長)
鈴木 クニエ (勁草書房 編集部長)
榎本 周平 (青土社 営業部)

第4部 15:00 ~ 16:30

パネルディスカッション『本の可能性と未来のカタチ』
コーディネーター：橋元 博樹
パネラー：永沼 浩一、鈴木 クニエ、榎本 周平、田村 俊作、上田 敬太郎、原 有樹



▲申込みはこちら

主催

書物復権の会・石川県立図書館

書物復権

加盟出版社

岩波書店・紀伊國屋書店・勁草書房・青土社・
創元社・東京大学出版会・白水社・法政大学
出版局・みすず書房・吉川弘文館

同時 開催



ミニ展示「紙の本の愉しみ」

場所：石川県立図書館 4F リング東側 展示ケース内
展示期間：2023年9月12日(火) ~ 10月8日(日)

石川県立図書館

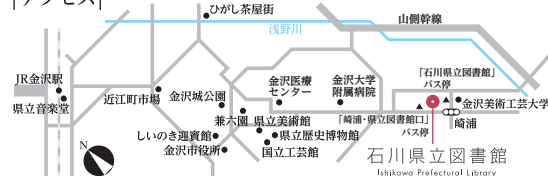
Ishikawa Prefectural Library

百万石
ビブリア
バウム

〒920-0942 金沢市小立野2丁目43番1号
Tel 076-223-9565・Fax 076-223-9566
E-mail: library@pref.ishikawa.lg.jp

【駐車場】400台／入庫後30分無料、以降30分ごとに100円。図書館利用者は入庫後3時間無料。
※周辺道路は混雑が予想されます。来館の際は公共交通機関をご利用ください。

アクセス



出演者 紹介

第1部 基調講演『いろいろな場面、いろいろな読者、デジタルがもたらすもの』



田村 俊作

石川県立図書館 館長

慶應義塾大学名誉教授（図書館学）。2022年より石川県立図書館長。

慶應義塾大学に在職中は、新しい図書館サービスとその基底にある考え方を研究。石川県立図書館には新館建設の基本構想から関わり、これまでの知見を生かした運営をめざしている。

第2部 パネルディスカッション 『企画展「十二文豪図書館二降臨ス ～EPISODE with 文豪とアルケミスト～ を作るーこれも司書の仕事』

コーディネーター：田村 俊作



上田 敬太郎 パネラー

石川県立図書館 閲覧サービス課長

本と出会う12のテーマ「文学にふれる」2020-22年度副担当
大学時代に司書資格を取得、教員生活を経て、
2004年より石川県立図書館に在籍。専門分野はミステリで、プライベートでは金沢ミステリ倶楽部の事務担当として活躍。



【企画展】十二文豪図書館二降臨ス～EPISODES with 文豪とアルケミスト～
人気ゲーム「文豪とアルケミスト」のキャラクターの等身大パネルとともに、文豪の人柄がにじむエピソードを紹介した企画展示。SNSで「素敵」「行きたい」と話題となり、石川県民だけでなく全国からゲームファンも来場した。



原 有樹 パネラー

石川県立図書館 閲覧サービス課

本と出会う12のテーマ「好奇心を抱く」2020-22年度主担当
学校司書として勤務した経験を活かし、2020年度から22年度まで中高生を始め若い層をターゲットにしたテーマ『好奇心を抱く』の選書・棚づくりを行う。現在は児童書の知識に関する本の選書等を担当。



河合 郁子

石川県立図書館 利用推進課

水族館、映像制作会社を経て学芸員と司書資格を取得し、図書館業界へ。2007年より千代田区立千代田図書館にて企画展示を11年間担当し、2018年に石川県入庁。現在は主に企画展示とイベントを担当。

第3部 パネルディスカッション『本をつくるひと、届けるひとー出版社の仕事』



橋元 博樹 コーディネーター

東京大学出版会 専務理事

人文書出版社をへて、2000年に同会に入職。以来、営業担当者として全国の書店を訪問するいっぽうで書籍の電子化にも取り組む。論文に「平成の出版界」（人文会ニュース、2019）がある。



永沼 浩一 パネラー

岩波書店 編集局副部長

1992年、岩波書店入社、自然科学書編集部、岩波新書編集部、岩波文庫編集部を経て現職。岩波新書と岩波文庫では編集長を務めた。編集を担当した本：畑村洋太郎『直観でわかる数学』ほか多数。



鈴木 クニエ パネラー

勁草書房 編集部長

大学卒業後、学生向け数学月刊誌の編集部を経て、フリーとしていろいろな出版社や媒体での仕事に従事。2009年より勁草書房にて単行本編集者として主に法学系、自然科学系の書籍作りに携わる。



榎本 周平 パネラー

青土社 営業部

大学卒業後、都内大型書店勤務（雑誌担当）を経て、2010年、青土社入社。営業部所属。主に書店や取次などの営業、在庫管理などを担当。